

第104期 中間株主通信

2018年4月1日 — 2018年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	3
トピックス	5
会社情報／株式情報	6





増収・増益の勢いを継続し、さらなる成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第104期上期(2018年4月1日から9月30日まで)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。今後も引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 朝倉 研二



Q 上期の概況をお聞かせください。



A 全体的に国内・国外とも概ね好調で、増収増益を実現しました。

上期における日本経済は、堅調な企業収益を背景に緩やかな回復基調を維持しました。世界経済も、米国の堅調な企業業績を背景に、全体として回復基調を維持しましたが、米中貿易摩擦により先行きの不透明感は増えています。

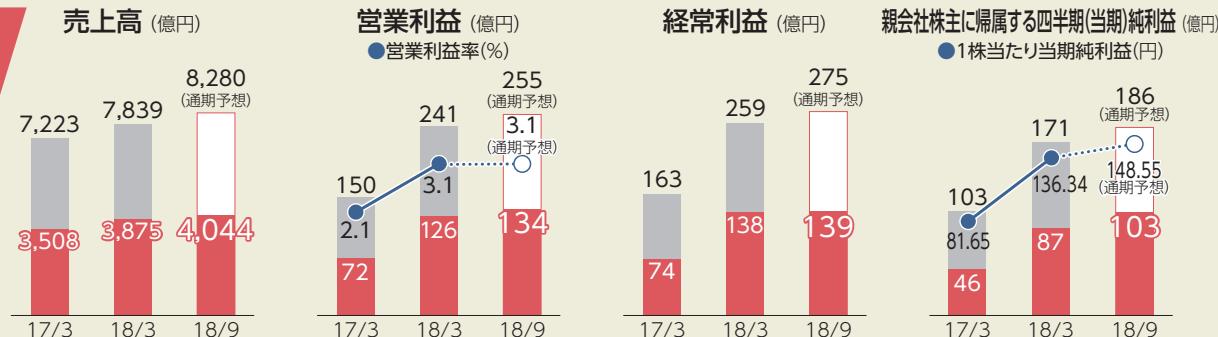
そうした中で、電子セグメントの売上は微減、生活関連セグメントで横ばいとなりましたが、他のセグメン

トの売上は国内外とも増加しました。その結果、当上期の連結売上高は、国内販売が2,022億4千万円(前年同期比5.0%増)、海外販売が2,022億1千万円(同3.7%増)となり、全体で4,044億5千万円(同4.4%増)となりました。

利益面では、全般的な増収に加え、製造子会社における収益性の改善等により営業利益が134億3千万円(同6.5%増)、経常利益が139億1千万円(同0.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は103億2千万円(同17.8%増)となり、前期に引き続き、売上・利益面ともに第2四半期連結累計期間

業績 レビュー

■ 上期
■ 通期



における過去最高を更新いたしました。

Q 通期の見通しはいかがですか。

A 先行きは不透明な状況ですが、**期初の予想通り増収増益を目指します。**

下期につきましては、米中貿易摩擦の影響など、先行きは不透明感を増していますが、連結売上高は、期初の予想通り8,280億円(前期比5.6%増)を予定しております。

利益面につきましても、期初の予想通り、営業利益は255億円(同5.7%増)、経常利益は275億円(同5.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は186億円(同8.3%増)を見込んでおります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A **引き続き中期経営計画「ACE-2020」の達成に邁進し、より一層の企業価値向上を目指します。**

今期は、5ヶ年の中期経営計画「ACE-2020」の3年

目となり、折り返しを迎えます。基本方針である「収益構造の変革」と「企業風土の変革」は、成果が顕在化しつつありますが、ゴールはまだ先にあり、“ギャップを埋める施策”が重要になります。前期に決定した次世代ディスプレイ関連の合併会社、また、中国における新エネルギー車向け部品製造会社の設立等の新規ビジネスを加速させます。当上期は、米国における新たな取組みとして、3Dプリンター向け材料を開発・製造する合併会社を設立いたしました。3Dプリンター市場は、ものづくりイノベーションとして大幅な市場規模拡大が見込まれており、市場の40%を占める欧米市場でのビジネス拡大が期待されます。

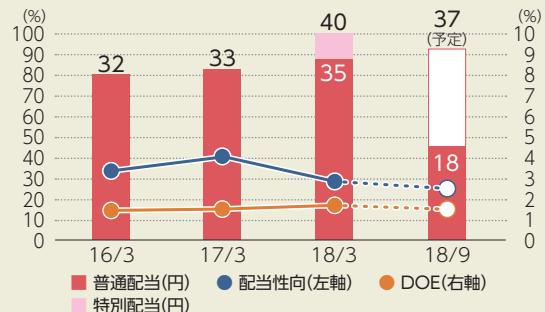
今後も、M&Aを含む成長投資と資産の入替えを加速し、新陳代謝が促される仕組みを確立させ、「ACE-2020」の達成に邁進いたします。

株主の皆様におかれましては、当社グループの将来性にご期待いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

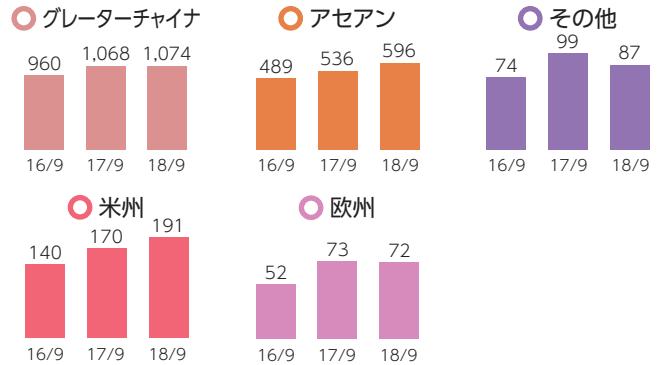
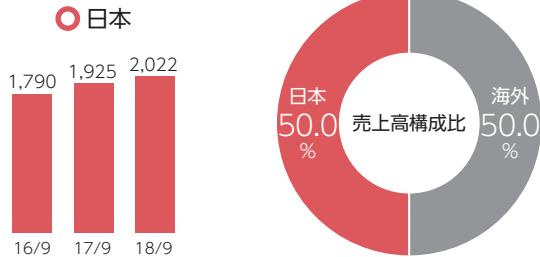
利益配分に関する基本方針

当社は、収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、連結業績連動を基礎とした、株主の皆様への安定配当を継続して行うことを基本方針としております。

また、内部留保した資金の用途につきましては、今後の事業拡大ならびに経営基盤の強化に有効活用していく考えであります。

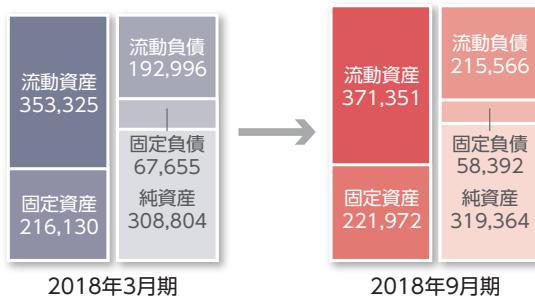


地域別売上高構成比 (億円)

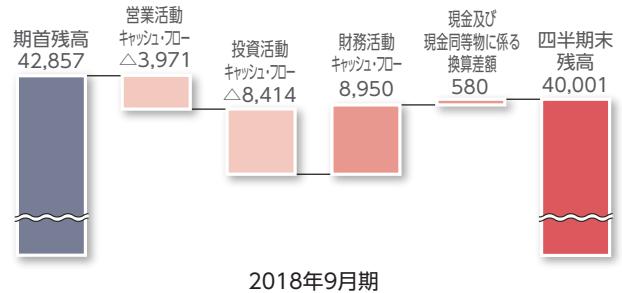


連結財務諸表サマリー (百万円)

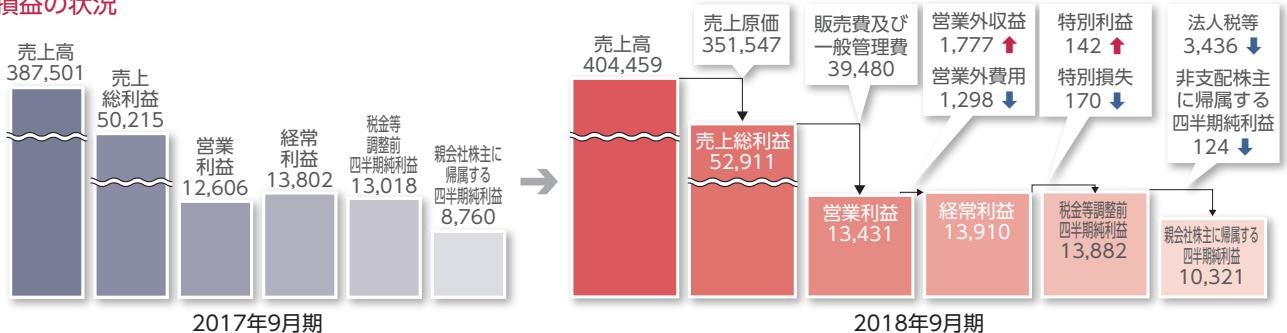
資産・負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



損益の状況



TOPICS
1

米国で3Dプリンター向け特殊材料の 開発・製造の合併会社を設立

当社の100%子会社であるナガセアメリカは、スペシャリティケミカルや特殊樹脂の開発に強みを持つ米国のInterfacial Consultants LLCと、合併会社Infinite Material Solutions LLC(以下「IMS」)を設立しました。

IMSでは、産業用途に飛躍的な成長が見込まれる3Dプリンター向け特殊材料の開発・製造を行います。すでに、3Dプリンターの主流の1つであるFDM(熱溶解積層)方式向け水溶性サポート材フィラメントの製品化を進め、2019年初めに販売開始予定です。

本サポート材は、スーパーエンジニアリングプラスチック(以下「超エンプラ」)にも対応した業界初の水溶性サポート材で、超エンプラを原料とする3Dプリントの市場規模は、今後5年で10倍になる*と見込まれています。

ナガセアメリカは、IMSが開発・製造した高付加価値製品を、世界の3Dプリンター市場の約40%を占める欧米市場において先行的に販売する方針です。



[左から]
Brad Hilborn (Infinite Material Solutions LLC, CBO), 内田 龍一(ナガセアメリカ, CEO), Larry Doerr (Infinite Material Solutions LLC, COO), Jeff Cernohous (Infinite Material Solutions LLC, Executive Advisor)

※ IDTechEX社調べ

TOPICS
2

割れにくいプラスチック「Tritan™」製食器を サイゼリヤが全店舗に導入



当社が日本代理店として取り扱う Eastman Chemical社の合成樹脂「Tritan™」(以下「トライタン」)を使用した食器が、株式会社サイゼリヤが展開するイタリアンレストランチェーン「サイゼリヤ」で導入されました。導入食器は、これまでガラス製を利用してきたジュースグラス、ワイングラス、ジョッキ、デカンタ(250ml、500ml)の5種類で、年内をめどに約1000店舗ある全店に導入される予定です。

トライタンはガラスのように透明で、割れにくく食器洗い機への耐久性に優れるため、哺乳瓶やスポーツ用水筒などの生活用品から医療機器まで、幅広く使用されています。



サイゼリヤで導入されるジョッキ、ワイングラス、ジュースグラス、デカンタ 250ml、同 500ml (左から)

TOPICS
3

ロンドンパラリンピック銅メダリスト 和田伸也選手が入社

2012年ロンドンパラリンピックの陸上5000mで、銅メダルを獲得した和田伸也選手が当社に入社しました。和田選手は、同パラリンピックにおいてマラソンでも5位入賞。2016年リオパラリンピックでは、1500m6位、5000m6位、マラソン5位とすべての出場競技で入賞しています。現在、日本ブラインドマラソン協会および日本パラ陸上競技連盟の強化指定選手として、2020年東京パラリンピック出場を目指しています。本年10月には、インドネシア・ジャカルタで開催された「インドネシア2018アジアパラ競技大会」において、1500m、5000m両種目で銀メダルを獲得しました。

当社は、高い目標を掲げる和田選手の志に共感し、活動をサポートしていきます。



写真:長田洋平/アフロスポーツ

プロフィール 1977年生まれ。大阪府出身。関西大学在学中に網膜色素変性症と診断され視力を失う。28歳から本格的に競技を始め、2009年度から日本ブラインドマラソン協会強化指定選手。フルマラソン(T11:全盲)の日本記録保持者でもあり、大阪スポーツ賞優秀選手賞、京都市スポーツ栄誉賞など数々の賞を受賞。

会社概要

商号 長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.

創業 1832年(天保3年)6月18日

設立 1917年(大正6年)12月9日

資本金 9,699百万円

従業員 865名(連結6,379名)

主要な事業所 大阪本社、東京本社、名古屋支店、
ナガセR&Dセンター(兵庫県神戸市)、
ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県
尼崎市)

取締役・監査役

取締役

代表取締役会長	長瀬	洋
取締役副会長	長瀬	玲二
代表取締役社長	朝倉	研二
代表取締役	名波	瑞郎
取締役	森下	治
取締役	若林	市郎
取締役	山内	孝典
取締役	池本	眞也
社外取締役	西	秀訓
社外取締役	家守	伸正

監査役

監査役	松木	健一
社外監査役(常勤)	白藤	信之
監査役	古川	方理
社外監査役	松井	巖

株式の状況

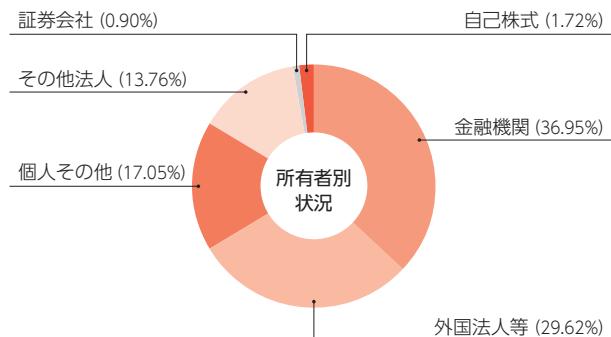
発行済株式の総数 127,408,285株

株主数 10,881名

大株主の状況

株主名	当社への 出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,108	5.58
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	5,842	4.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,805	4.56
三井住友信託銀行株式会社	5,776	4.53
株式会社三井住友銀行	4,377	3.44
日本生命保険相互会社	3,589	2.82
長瀬 令子	3,549	2.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,284	2.58
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,171	2.49
株式会社長瀬舜造	2,688	2.11

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎ 0120-782-031 (照会先URL) https://www.smb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトにて行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主に対する特典	毎年3月31日現在の株主名簿に記載された1単元以上保有の株主を対象に、保有期間に応じて、グループ会社の製品もしくはカタログギフトを贈呈。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

○ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

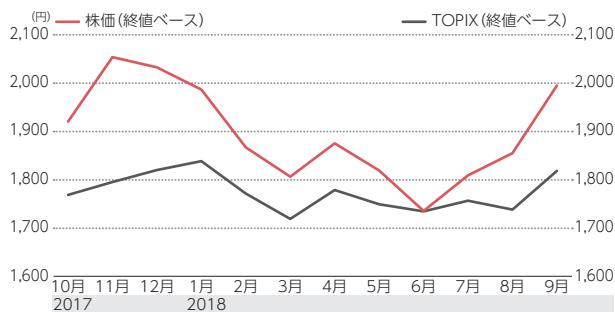
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

○ 特別口座について

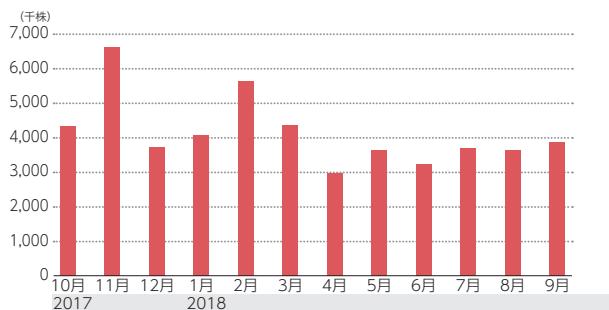
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていた株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株価／出来高の推移 (2017年10月1日～2018年9月30日)

株価の推移



株式売買高の推移



基本理念



NAGASE経営理念
社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める。

NAGASEビジョン
社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、広げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する。

- NAGASEウェイ**
- 常に顧客指向であれ
 - 常に独創的な挑戦者であれ
 - 常にグループ力の活用を考えよ
 - 常にグローバルに考えローカルに行動せよ
 - 常にシステムティックに考えスピーディーに行動せよ

本冊子掲載情報の詳細については当社ウェブサイトをご参照ください

<https://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

